

令和元年度事業報告書

社会福祉法人名古屋市天白区社会福祉協議会

I 第4次天白区地域福祉活動計画「てんてんプラン2019」の推進

令和元年度から令和5年度を計画期間とする第4次天白区地域福祉活動計画「てんてんプラン2019」を推進するため、住民参画のもと2部会および推進委員会体制を敷いて、計画実施項目に基づいた具体的な事業を企画・実施しました。

部会等	実施回数	主な協議内容（基本計画）
つぶやき・キャッチ	4回	・学区計画の活動支援（天白学区福祉プラン2019） ・地域の福祉活動者と専門職等の顔合わせの機会（小地域ケア会議の模擬訓練）等
ともいく（共育）	6回	・ボランティア活動の情報収集と発信（天白区ボランティアグループ情報） ・ボランティア活動を始めるきっかけづくり（出張ボランティア展の開催：みんなの元気フェスタ、天白生涯学習センター利用調整会）等

1 基本目標Ⅰ 地域福祉活動の充実と専門職とのネットワークづくり

「小地域ごとに福祉ニーズをつかみ、それに対し住民や専門職の連携により解決する仕組みをつくる」

（1）地域の福祉活動者と専門職のネットワーク拡充[基本計画1]

実施項目① 地域福祉活動者と専門職等の顔の見える関係をつくる

地域住民と専門職等の顔合わせの機会として、いきいき支援センターを中心に年4回小地域ケア会議を開催しました。

（2）福祉課題の協議の場の拡充[基本計画2]

実施項目② 地域福祉課題について話し合う機会（協議の場）の充実

「天白学区福祉プラン」の作成にあたり、学区担当者を通じて支援しました。

実施項目③ 小地域ごとのニーズやつながり・潜在的ボランティアの可視化

※令和元年度は活動実績なし

（3）人と人のつながりの中で、その地域の福祉ニーズや個々の困りごとをキャッチする[基本計画3]

実施項目④ 身近な地域に困りごとを「つぶやける場」を増やす

つながりの場の調査方法及び場所について検討しました。

実施項目⑤ 地域共生社会を目指した意識啓発

推進協会長連絡会で、地域共生社会に関する講話を聴き、その重要性について造詣を深めました

2 基本計画Ⅱ 福祉環境づくり

ボランティア活動に気軽に参加できる環境を整えるとともに、地域で暮らす多様な人々がお互いに認めあえる（共に生きようとする気持ちを育む）環境をつくる

（1）気軽にできることからボランティア活動を始められる環境をつくろう

[基本計画 4]

実施項目⑥ ボランティア活動の情報収集と発信

- ①本会に寄せられる各種ボランティア活動にかかわるチラシや情報紙を窓口や掲示板を活用して設置しました。
- ②施設等が募集しているボランティア活動の内容を集約・公表できる様式を作成し、運用を開始し、施設等に記入していただいた様式は掲示板でも公表しました。
- ③天白区で活動しているボランティアグループの活動情報冊子を作成し、窓口や天白生涯学習センターに設置した他、「出張ボランティア展」での情報提供に活用しました。
- ④本会が発行・全戸配布している情報紙「ぱわわ」の1～3面記事で、ボランティア活動の特集しました。
- ⑤第3次地域福祉活動計画推進「育み部会」で作成したボランティア活動啓発チラシ「ちょっとしたことからできるボランティア活動」の内容を更新し、「出張ボランティア展」等で配布しました。

実施項目⑦ ボランティア活動を始めるきっかけづくり

- ①ボランティア活動紹介パネルの展示や、ボランティア活動にかかわる情報提供や相談を行う「出張ボランティア展」を開催しました。

出張先	みんなの元気フェスタ in てんぱく 2019
日時	11月24日（日）午前10時から午後4時
場所	天白区役所講堂
ブースへの来場者数	116人（＝ボランティア活動啓発チラシ配布数）

- ②令和2年度の年次計画である「「出張ボランティア展」の実施（2回）に向けて、開催場所の検討を行い、新規実施候補のイベント側（「天白区福祉区民のつどい」実行委員会）へ出展意向を伝えました。
- ③ボランティア活動につなげられそうなグループの集まる場の情報を得て、どのようにアプローチできるか、方法を検討し、実施しました。

出張先	天白生涯学習センター利用調整会
日時	3月2日（月）午前9時10分から午前10時
場所	天白生涯学習センター
参加人数	48人

（2）共に生きようとする気持ちを育む環境をつくろう [基本計画 5]

実施項目⑧ 多様な人々を理解し思いやる意識づくり

実施項目⑨ 誰もが行きたくなる店舗の増加につながる支援

令和2年度の年次計画の達成に向けて、検討を行いました。

Ⅱ 継続事業の推進

1 地域福祉推進協議会（推進協）関連

（１）推進協の活性化

各学区に設立されている地域福祉推進協議会の活動を支援するために、本会の職員（コミュニティワーカー）の学区担当を配置し、運営の相談・援助・必要経費の一部の助成を行いました。また、地域福祉推進協議会活動、ふれあい給食サービス事業が円滑に実施されるよう、各学区を訪問し助成金の精算・申請を中心に事務説明を行いました。

※例年３月に開催されている事務説明会は、新型コロナウイルス感染防止の観点より中止しました。

（２）推進協の情報交換の場づくり

① 推進協会長連絡会の開催

地域福祉推進協議会の活性化を図ることを目的に、推進協の会長を対象とした「推進協会長連絡会」を開催し、地域共生社会について学習しました。

開催日	９月２６日（木）
内 容	講話「地域共生社会をどう実現できるか」 愛知淑徳大学 准教授 中村弘佳
参加者	１６名

② 推進協実務者研修会

各学区の普段の取り組みについて再確認し、今後の地域福祉についてグループワーク・情報交換を行いました。

開催日	２月２０日（木）
内 容	今後の地域福祉活動について意見交換（グループワーク）
参加者	３６名

③ ふれあい給食をよりよくする会の開催

ふれあい給食サービス事業に関わるボランティアが自由に集まり、他の学区に聞いてみたい事柄について話し合いました。

	開催日
第１回	９月１３日（金）
第２回	２月２６日（水）

(3) 活動内容の充実

① 推進協活動経費の助成

17学区にある地域福祉推進協議会に活動経費の一部を助成しました。
その助成金を活用して各学区地域福祉推進協議会が実施した代表的な事業は、次のとおりです。

【令和元年度助成額】 5, 585, 000円

学区名	主な事業	学区名	主な事業
平針南	福祉まつり 他 13事業	八事東	サロンやごひが 他 4事業
平 針	ひとり暮らし高齢者ふれあい訪問 他 10事業	表 山	はつらつ表山サロン 他 8事業
平針北	ふれあいの里 他 6事業	天 白	サロン横町 他 6事業
原	ふれあいサロン 他 5事業	山 根	「やまねふくしだより」の発行 他 16事業
植 田	サロンひととき 他 9事業	しまだ	ちょボラお助け隊 他 9事業
植田南	うえみなサロン 他 6事業	高 坂	学区相談窓口 他 16事業
植田北	すくすくサロン 他 7事業	相 生	相生学区福祉活動計画「相あいプラン」 他 11事業
植田東	りんりん（障がい児スポーツサロン） 他 10事業	野 並	YYY体操 他 7事業
大 坪	大坪健康サロン 他 8事業		

② ふれあい給食サービス事業への助成・支援

高齢者等が一堂に会して食事をする会食事業と高齢者等の自宅に食事を配達する配食事業に実施回数および平均参加者数に応じた助成金を交付しました。

【令和元年度助成額】 1, 687, 000円

【会食】

学区名	実施回数	平均参加者数	学区名	実施回数	平均参加者数
平針南	9回	42名	表 山	7回	12名
平針北	5回	36名	天 白	6回	21名
原	5回	43名	山 根	9回	53名
植 田	9回	16名	しまだ	6回	81名
植田南	9回	23名	高 坂	10回	42名
植田北	3回	48名	相 生	9回	49名
大 坪	5回	32名	野 並	3回	55名
八事東	8回	25名			

【配食】

学区名	実施回数	平均配達数
平針南	29回	32名

2 ふれあい・交流イベント関連

(1) ふれあい・交流の場づくり

① 天白おやこ子育て広場

子育て世代を対象に、親子遊びや交流、区内サークルや行政の子育て情報提供コーナーなどを設ける「おやこ子育て広場」を、天白おやこ子育て広場実行委員会（天白区社協・天白子どもネットワーク）により企画、開催しました。

	in Summer 2019
開催日	8月6日（火）
会 場	天白スポーツセンター 第1・2競技場
参加組数	親子335組
内 容	工作や遊びの「つくる・あそぶ」コーナー、絵本を楽しむ「みる・きく」コーナー、生活に役立つ「くらす」コーナー、赤ちゃんコーナーを設置。 保育士、歯科衛生士によるミニセミナー、パパの絵本ライブ、親子リズムフィットネス、室内大運動会を実施。

	in Winter 2020
開催日	2月13日（木）
会 場	天白スポーツセンター 第1・2競技場
参加組数	親子267組
内 容	工作や遊びの「つくる・あそぶ」コーナー、絵本を楽しむ「みる・きく」コーナー、生活に役立つ「くらす」コーナー、区内の子育て応援拠点、支援拠点合同の「拠点コーナー」を設置。 子どもが家でできないことを思い切り楽しめる「アートコーナー」や「室内プレーパーク」を実施。

② 第35回天白区福社区民のつどい

「ふれ愛ネット天白」を中心に実行委員会を組織し、「第35回天白区福社区民のつどい」を開催しました。また、「まつり天白」体験広場のフリーマーケットエリアで民生バザーも開催しました。

開催日時	10月27日（日）午前10時から午後3時	
会 場	天白公園及び天白生涯学習センター	
参加者	40,000人（「まつり天白」事務局確認）	
内 容	福祉広場 （天白公園）	福祉体験、ゲーム、飲食模擬店、製品販売、共同募金啓発など
	おまつり広場 （天白公園）	製品販売、メインステージでの歌・踊り披露など
	体験広場 （天白公園）	民生バザー
	ふれあい広場 （天白生涯学習センター）	ステージプログラム、シーン・ボイスガイド体験、子どもの発達相談、持ち寄って持ち帰るリサイクル会、工作、輪投げ、すずなげ、おもちゃ遊び、作品展示など

(2) 福祉活動者のつながるための場づくり

① ふれ愛ネット天白への支援

ボランティアや当事者団体、福祉施設などで組織されている「ふれ愛ネット天白」の運営と事業を支援しました。また、「名古屋市ボランティア連絡協議会交流研修会」等のイベントに参加し、活動をPRしました。

部会	目的	活動内容
ふれあい部会	会員相互の交流・連携を深め、会員のスキルアップを目指す部会	7月20日(土) 顔合わせ交流会(参加者27名)
		11月9日(土) やみなべ交流会(参加者37名)
		3月14日(土) 風船バレー交流会(コロナで中止)
PR部会	区民に対して情報発信を行うとともに、会員相互の情報交換を目指す部会	・情報紙「ばわわ」への情報掲載(年4回) ・団体紹介冊子の改訂・配布 ・マスコットキャラクターにこっちの活用

3 地域活動支援関連

(1) 公募形式福祉団体助成(赤い羽根共同募金助成金)

区内のボランティアグループや福祉団体が実施する研修会等の経費を公募形式で募集しました。

【助成団体】3団体 【助成総額】18,681円

(2) 地域団体及び当事者団体への助成(赤い羽根共同募金助成金)

事業名	金額	助成先等
子育て・子ども支援関係	832,163円	区子ども会連合会、学童保育 等
障がい関係	380,000円	手をつなぐ育成会
地域福祉関係	3,135,000円	学区推進協
福祉団体関係	340,000円	民生委員連盟区支部、老人クラブ 等
公募助成関係(再掲)	18,681円	公募3団体

【助成総額】4,705,844円

4 ボランティア関連

(1) ボランティアセンターの運営

ボランティアに関する総合窓口として、ボランティアセンターを設置し、ボランティア活動に関する相談や活動の調整、情報の提供、保険の受付を行いました。

① ボランティアニード対応状況

対応完了件数	対応状況		
	登録ボラ調整	その他調整	対応不可(依頼取り下げ含む)
188件	162件	18件	8件

② ボランティア登録状況

ボランティア登録	個人	291人
	団体	199団体(4,136人)

(2) ボランティア活動の企画・実施

①サンタクロース派遣事業

区内在住の高齢者を中心にサンタクロースボランティアを募集し、保育園や高齢者福祉施設、小規模福祉施設などで実施するクリスマス会へ派遣しました。

ボランティア数	30名（実活動者19名）
実施時期	12月2日～12月25日
派遣施設等	28か所
衣装貸出	8か所

②点字教室の開催

天白区で活動している点訳ボランティアグループ「みなづき会」に協力して、講座を開催しました。

【開催時期】①6月13日(木) ②20日(木) 全2回講座

【参加者】①4名 ②4名

③視覚障がい者ガイドボランティア養成講座の開催

天白区で活動しているガイドボランティアグループ「天白わかば」に協力して、講座を開催しました。

【開催時期】①10月3日(水) ②10日(水) ③17日(水) 全3回講座

【参加者】①5名 ②5名 ③5名

④高齢者疑似体験ボランティア養成講座の開催

地域や学校等で、高齢者の体の変化やサポートの仕方などの理解を広げるとともに、活動メンバーの確保を図るため、高齢者疑似体験ボランティアグループ「エルダーコンシェルジュきんもくせい」と協力して、実践を交えた講座を開催しました。

【開催時期】2月10日(月)・17日(月) 全2回講座

【参加者】3名

⑤シーンボイスガイド付き映画上映会の開催

シーンボイスガイドについての理解を深めていただくことを目的に、ボランティアグループの「ボイス・ケイン天白」と共催でガイド付きの映画上映会を開催しました。

	第1回	第2回
開催日	令和元年8月4日(日)	令和2年3月1日(日)
会場	天白区在宅サービスセンター研修室	
参加者	15名	新型コロナウイルスの影響で中止
タイトル	ワンダー 君は太陽	心が叫びたがってるんだ。

(3) 既存のボランティアのスキルアップ

①ボランティアの組織化・機能化

福祉教育における学習サポートを行うボランティアグループの機能促進のために、定例会を開催しました。

- ・はなぐるま（車いす体験） 年6回
- ・エルダーコンシェルジュきんもくせい（高齢者擬似体験） 年8回
- ※3月以降は新型コロナウイルスの影響で中止

②災害ボランティアセンターの設置・運営訓練

「災害に強いまちづくり」を目的に、災害ボランティアセンターの設置・運営訓練を防災ボランティアグループ「天白でいぷり」と実施しました。

【開催日】11月24日（日）

【参加者】19名

5 福祉情報関連

（1）地域の福祉情報紙「ぱわわ」の発行

本会の知名度向上と区民の福祉への関心を高めることを目的に、区内の福祉情報を提供する情報紙「ぱわわ」を年4回発行しました。

【発行月】61号（6月）、62号（9月）、63号（12月）、64号（3月）

【発行部数】各56,800部

【配布先】中日新聞折り込み及びポスティングによる各戸配布、本会窓口、天白区内公所、福祉施設、コミュニティセンターなどでの配布。

（2）天白子育て情報通信「PAKUっ子」発行

子育て世代に有益な情報を提供するため、区内の子育てグループやイベント、相談機関などの情報を掲載した子育て情報通信を発行しました。

【発行回数】12回（毎月発行）

【発行部数】各3,400部

【配布先】保育園、幼稚園、小児科・産婦人科などの病院、関係公所、コミュニティセンター、金融機関など。

（3）ホームページの運営

社協活動を区民に広く知ってもらうとともに、リアルタイムにボランティア活動情報や福祉イベント情報を提供するため、ホームページを運営しました。

【HPアドレス】<http://www.tenpaku-shakyo.com>

6 財源関連

（1）会員及び賛助会員の募集・拡充

会 員		賛助会員	
区政協力委員会	17団体	個人会員	381件
民生委員児童委員協議会	17団体	法人・団体会員	16件
社会福祉施設	21施設		
社会福祉関係団体	8団体		
ボランティア活動団体	8団体		
地域関係団体	5団体		
76団体	170,000円	397件	738,000円

(2) 赤い羽根共同募金への協力

	実 績 額
赤い羽根共同募金運動 (10月1日～12月31日)	10,109,965円
歳末たすけあい運動 (12月1日～12月31日)	232,596円

○赤い羽根協賛書道・ポスター作品展

【期間及び場所】 10月19日～10月31日 天白図書館展示スペース

【応募総数】 書道 24校135点 ポスター22校106点

○啓発活動

・イベント募金実績額 118,474円

学区のまつり、イベント等で募金活動を行いました。

・街頭募金 10月 1日 30,244円

11月24日 19,613円 計49,857円

地下鉄植田・原駅前にて、民生委員児童委員を中心にご協力いただきました。

また、地下鉄平針駅にてボーイスカウトの協力を得て実施しました。

(3) 災害義援金

平成28年熊本地震義援金	44,328円
平成30年度7月豪雨災害義援金(中央共募)	7,118円
令和元年8月佐賀県豪雨災害義援金	15,194円
京都府放火事件に係る被害者義援金	1,500円
令和元年台風第15号千葉県災害義援金	74,932円
令和元年台風第19号災害義援金【中央共募】	195,045円

(4) 寄附金・寄贈の受入れ

	寄附金	寄贈品
件数	11件	1件
寄附金額および寄贈品	528,316円	ボッチャ用品一式 (115,060円分)

Ⅲ 受託事業

1 高齢者はつらつ長寿推進事業

65歳以上の高齢者を対象に健康体操やレクリエーションなどを通じ、介護予防や仲間づくりを行う「高齢者はつらつ長寿推進事業」を地域や学校、ボランティアの協力を得ながら区内8か所で実施しました。

曜日	AM PM	実施会場	前期			後期		
			延べ回数	実参加者数※1	延べ参加者数	延べ回数	実参加者数※2	延べ参加者数
月	AM	表山コミセン	21	24	450	16	24	327
	PM	植田南コミセン	21	26	505	16	26	379
水	AM	在宅サービスセンター	24	21	468	21	21	405
	PM	おおね荘 第3集会所	24	22	459	21	22	374
木	AM	平針南コミセン	24	24	524	21	24	452
	PM	山根コミセン	24	24	486	20	24	422
金	AM	野並小特活室	24	24	466	19	24	397
	PM	相生コミセン	24	21	423	19	22	337

※1・・・9月末時点

※2・・・3月末時点

2 名古屋市地域支えあい事業

生活の困りごとを抱えた方に対し、近隣住民同士でちょっとした手助けを行う生活支援や、ひとり暮らし高齢者等を対象とした見守り活動を6学区で実施しました。

学区	表山	高坂	山根	しまだ	平針南	平針北
ボランティアカード配布人数	67名	134名	134名	114名	195名	53名
実活動者人数(%)	51名 (76%)	115名 (87%)	108名 (80%)	84名 (73%)	191名 (97%)	42名 (79%)
活動延人数	587名	3,865名	4,635名	2,316名	3,061名	415名
ボランティアポイント数 還元(寄付)	2,480P	12,433P	9,491P	10,806P	13,230P	2,539P
合計金額	24,800円	124,330円	94,910円	108,060円	132,300円	25,390円
ボランティアポイント対象事業数	8事業	16事業	7事業	5事業	10事業	5事業
主な個別支援 関連事業	お助けシステム	おたすけ 高坂、ふれ あいネット ワーク 活動	やまね お助け隊	ちょボラ お助け隊	お助け活 動、見守り 活動	ちょこつ とボラン ティア平 北

3 生活福祉資金貸付事業

愛知県社会福祉協議会の実施する生活福祉資金貸付事業の相談や、償還指導の窓口として運営に協力しました。

資金の種類		相談件数	貸付件数	金額
総合支援資金	生活支援費	15件	0件	0円
	住宅入居費	0件	0件	0円
	一時生活再建費	5件	0件	0円
福祉資金	福祉費	81件	4件	405,000円
	緊急小口資金	117件	3件	187,000円
教育支援資金		25件	1件	940,000円
不動産担保型生活資金		40件	0件	0円
臨時特例つなぎ資金		0件	0件	0円
合計		283件	8件	1,532,000円

また、新型コロナウイルス特例貸付を3月25日より実施しました。

(実施期間：令和2年3月25日～7月31日(予定))

資金の種類	相談件数	貸付件数	金額
緊急小口資金(特例)	96件	45件	6,900,000円

4 緊急小口資金償還事務

緊急小口貸付事業の貸付金の償還事務を行いました。

償還金額	0円
貸付中件数	1件(令和2年3月末現在)

5 名古屋市高齢者サロンの整備等生活支援推進事業

(1) ふれあい・いきいきサロンの設置・運営支援

新規サロンに対し開設助成を、実施サロンに運営助成を行いました。

開設助成 【助成団体】 1団体 【助成決定額】 50,000円

運営助成 【助成団体】 46団体(延べ) 【助成決定額】 1,364,000円

(2) 生活支援部会(協議体)の運営

天白区での地域包括ケアシステムの構築を図るため「生活支援部会」を地域包括ケアの作業部会に位置づけ、その事務局を運営しました。

①部会の開催

【開催日】 7月23日、10月11日、1月24日(計3回)

②ワーキングチームの開催

久方中学校区を重点学区に選定し、メンバーを構成、協議しました。

【開催日】 6月27日(計1回)

③取り組み内容

地域活動者や専門職が感じている地域課題や個別課題・ニーズを整理し、今後部会として取り組んでいく生活課題について協議しました。また、「わたしの応援ノート」の紹介と記入方法の説明を実施するとともに、活用事例等を集めた「みんなの声」を作成しました。

IV 関係機関との連携・協力

1 学校関係

区民の福祉意識の向上やボランティア活動への関心を高めることを目的に、学校での福祉教育の振興・福祉体験活動を支援しました。学校や地域に対して手話や点訳、アイマスク、車いす、高齢者疑似体験などのプログラムを提案し、講師やボランティアの調整、講演会、資材の貸出を行いました。

対象	学校数	体験件数*	延べ人数
小学校	11校	16件	1,241名
高等学校	2校	15件	402名
専門学校	1校	4件	101名
合計	14校	35件	1,744名

*体験件数の種類別

体験の種類	合計	内 訳
車いす	8件	小学校3、高等学校3、専門学校2
アイマスク	8件	小学校5、高等学校3
高齢者疑似	6件	小学校2、高等学校2、専門学校2
点字	6件	小学校3、高等学校3
手話	6件	小学校3、高等学校3
交流	1件	高等学校1
合計	35件	

2 行政関係

(1) 天白区避難所リーダー養成講座・交流会への協力

天白区安心・安全で快適なまちづくり協議会主催の「天白区避難所リーダー養成講座および防災・減災交流会」の開催にあたり、天白でいふりとともに講座の企画・運営の協力を行いました。

【開催時期】7、11、1月

(2) 総合防災訓練への協力

山根小学校で実施された天白区災害対策本部（天白区役所）及び天白学区災害救助地区本部主催の「総合防災訓練」において、災害時要援護者対応訓練を行いました。

【開催時期】9月

(3) 生活困窮者に対する応急的援助

被保護者や要援護者の緊急不測の事態に対し、応急的に資金の貸付を行うことで、自立更生意欲の助長と生活の安定を図ることを目的に、事業を行いました。（区役所保護係に委託）

【実績】185件

3 NPO法人

本会とコンソーシアムを組んだNPO法人たすけあい名古屋が、指定管理者として実施する天白福祉会館の管理・運営業務に協力しました。また、次期指定管理者として名古屋市より選定されました。(次期指定管理期間:令和2年度～令和6年度)

4 各種団体

(1) 天白区障害者自立支援連絡協議会への協力

授産製品の販売(マーガレットマルシェ)や福祉施設の職員などを対象とした研修会、障がい者をテーマとした映画会、障がい者の作品展などの企画や運営に協力しました。

(2) 天白区子育て支援ネットワーク連絡会などへの協力

地域における子育て支援関係者のネットワーク連絡会に参加しました。また、本州建設特別助成金を財源として、天白区ブックスタート事業や天白おやこ子育て広場や子育てサロン等への助成を行いました。

V 施設の管理・運営

1 在宅サービスセンター

区社協の事務所がある原ターミナルビルの同フロアを活用し、在宅福祉サービスと地域における福祉活動を総合的に推進するための拠点として「在宅サービスセンター」を運営しました。

(1) 在宅サービスセンター施設利用状況

部屋	団体数	利用者数
研修室 調理室	236団体	3,454名
ボラ室	149団体	1,744名
点訳室	69団体	216名
録音室	26団体	370名

(2) 車いすの貸出

一時的に車いすの使用が必要になった方の生活支援や、教育機関等における福祉教育の推進を目的に、車いすを貸し出しました。

一般貸出	65件
教育機関、地域団体等	11件

2 天白児童館(地域子育て支援拠点)

NPO法人たすけあい名古屋とのコンソーシアムを継続し、指定管理者として名古屋市天白児童館の管理・運営し、児童や子育て家族の利用を促進するとともに、次のような各種事業を実施しました。

(1) 子ども育成事業

遊びを通して子どもたちの健やかな成長を図り、情操を豊かにするため、季節、文化、スポーツなど 17 事業を延 24 回実施し 606 名が参加しました。

子どもが実行委員となり企画・運営する“キッズタウン(9 回延 379 名)”、子どもが意見表明する“子どもサミット(2 回延 51 名)”“中高生サミット(1 回 7 名)”など子どもが主体的に取り組む事業を実施しました。

また、中高生が気軽に集い、適切なサポートにより自主的に活動できる場や機会を提供する中高生の居場所づくり事業として、“中高生の JI・KAN”(毎週金曜日 50 回延 457 名)を実施し、中高生が自ら企画した“ハロウィンパーティー(2 回延 18 名)”、“クリスマス会(9 名)”などを行いました。

(2) 子育て支援事業

各年齢に対応した子育て支援を充実し、より多くの親子が楽しめる事業を実施しました。また、親育ちにつながる「親支援講座」や「離乳食の食べくらべ」などとともに、地域の子育て支援機関・団体と連携協働した「サロン de じどうかん」や「プレママ・プレパパ・ベビーサロン」などを実施しました。

参加しやすい雰囲気でお互いのつながりを大切にし、自信を持って育児できる親支援を行いました。具体的な事業は次表のとおり。

事業名	開催数	人数
親子体育(2 歳以上の幼児と保護者)	34 回	延 1,131 名
たのしいリトミック(1 歳以上の幼児と保護者)	18 回	延 604 名
おやこ de リズム(1 歳以上の幼児と保護者)	8 回	延 191 名
幼児のつどい(1 歳以上の幼児と保護者)	18 回	延 512 名
絵本であそぼう(乳幼児と保護者)	10 回	延 256 名
てんてん広場(0・1 歳児と保護者)	9 回	延 248 名
ちびっこ体操(0・1 歳児と保護者)	4 回	延 243 名
屋内遊園(乳幼児と保護者)	9 回	延 544 名
サロン de じどうかん(乳幼児と保護者)	2 回	延 268 名
びよコロサークル(1 歳未満の乳児と保護者)	10 回	延 349 名
離乳食の食べくらべ(乳幼児と保護者)	3 回	延 68 名
親支援講座(乳幼児と保護者)	1 回	延 34 名
産後バランスボールエクササイズ(0 歳児と保護者)	1 回	24 名(14 組)
節分あそびをしよう！(乳幼児と保護者)	1 回	79 名
プレママ・プレパパ・ベビーサロン In 児童館(0 歳児と保護者)	2 回	50 名(25 組)

(3) 留守家庭児童クラブ(*平成 31 年 3 月 31 日に事業を廃止)

(4) クラブ活動

将棋クラブ始め例年通り 4 クラブ活動を実施し、異年齢や他学校の児童との交流を促進しました。絵画・工作クラブは作品を福祉会館作品展に出展しました。

事業名	開催数	参加人数(定員)	事業名	開催数	参加人数(定員)
将棋クラブ	18 回	延 301 名(30 名)	絵画クラブ(前期・後期)	9 回×2 期	延 167 名(15 名)
卓球クラブ	18 回	延 181 名(15 名)	工作クラブ(前期・後期)	9 回×2 期	延 194 名(15 名)

(5) 児童館外で実施した事業(移動児童館)

児童館から遠方地域の主任児童委員と協働し、公園やコミュニティセンターにスタッフが出向き、遊びを提供する「おでかけ児童館」を実施しました。

また、児童が本格的な芸術とふれ合うコンサートなどを天白文化小劇場や生涯学習センターと共催し、豊かな情操を育む機会としました。

さらに、「おやこ子育て広場」など地域の催しに児童館として参加しました。

事業名	場所	人数
おでかけ児童館(乳幼児への遊びの提供)	子育てサロン、公園、プレーパーク 等	延 345 名
おでかけコンサート Let's music!～BRASS BANK と一緒に音楽を感じよう!～	天白区役所講堂(小劇場改修のため)	166 名
おやこ子育て広場(遊びのコーナー)	天白スポーツセンター	延 789 名
福社区民のつどい(遊びのコーナー)	生涯学習センター	744 名
大坪コミセンまつり(遊びのコーナー)	植田大坪公園	506 名
ちびっこクリスマス会(コンサート)	天白生涯学習センター	225 名

(6) 天白福祉会館との合同事業(世代間交流の促進)

福祉会館と合同で高齢者との交流を図りました。次表以外にも”おはなし&マジックショー “” お正月あそび “でも交流しました。

事業名	開催日	人数
夏野菜の植付け・野菜の収穫、球根の植え付け	5/10, 6/25, 6/28, 11/7	延 27 名
福祉会館・児童館 合同夏まつり	7/20	571 名
子どもカフェ	8/7	67 名
福祉会館 作品展	11/28・29	90 名

(7) 中学生の学習支援事業

ひとり親・生活保護や生活困窮家庭の中学生に、学習方法や学習習慣の定着を図ることで、確かな学力や進学意欲を醸成する学習支援を実施しました。

中学生の学習支援 登録数	実施回数	参加者数	利用料
20 名(中 1=5 名, 中 2=10 名, 中 3=5 名)	42 回	延 564 名	無料

(8) 高校生の学習継続支援事業

(7)の学習支援に参加した児童が進学後に安定した高校生活を継続できるよう、自主学習の場を提供し、相談に対応する支援の継続を行いました。

高校生等の継続支援 登録数	実施回数	参加者数	利用料
2 名(高 1=2 名)	21 回	延 234 名	無料

(9) サービス向上委員会

利用者サービスの向上を図るため、子育て支援機関・団体の代表等で組織するサービス向上委員会を開催し、サービス向上に努めました。

第 1 回 : 6 月 25 日 (木) 第 2 回 : 2 月 26 日 (水)

VI 法人運営

1 理事会・評議員会

【理事会】

回	開催日	場所	出席者数／定数	主な内容
第76回	令和元年 6月5日	区役所	12名／15名	平成30年度事業報告・資金収支決算 等
第77回	令和元年 6月26日	区役所	13名／15名	会長、副会長の選任、総括理事の指名 等
第78回	令和元年 12月18日	区役所	12名／15名	役員候補者の提案 等
みなし決議 (第1回)	令和2年 1月21日 (※決議日)		15名／15名 (※同意者数)	副会長の選任、評議員選任・解任委員会委員の選任 等
みなし決議 (第2回)	令和2年 3月19日 (※決議日)		15名／15名 (※同意者数)	令和2年度事業計画・資金収支予算 等

【評議員会】

回	開催日	場所	出席者数／定数	主な内容
第62回	令和元年 6月26日	区役所	26名／42名	平成30年度事業報告・資金収支決算 等
第63回	令和元年 12月18日	区役所	23名／42名	理事・監事の一部改選 等
みなし決議 (第1回)	令和2年 3月30日 (※決議日)		42名／42名 (※同意者数)	令和2年度事業計画・資金収支予算など

Ⅶ その他

1 天白区東部いきいき支援センター

保健・福祉・医療の側面から、高齢者がいつまでも住み慣れた地域で生活しているように支援するため、平針南・平針・平針北・原・植田・植田南・植田北・植田東・しまだ・高坂・相生の11小学校区を圏域とする天白区東部いきいき支援センター・分室を運営しています。

【主な取り組み】

① 介護保険予防給付管理事業

要支援と認定された方のケアプラン作成等を行っています。

	事業対象者	要支援1	要支援2
令和2年3月末給付管理ケース数（延数）	735件	3,251件	6,865件
（内訳）委託ケース（74事業所）	276件	1,569件	4,068件
（内訳）当センター直営ケース	459件	1,682件	2,797件

② 高齢者総合相談の実施

高齢者やその家族、地域の方からの保健・医療・福祉についての各種相談（虐待相談、成年後見制度、消費者被害など高齢者の権利擁護に関する相談を含む）に応じています。

種 別	新規実数	延べ相談回数
虐待関係	6件	23件
権利擁護関係	5件	9件
消費者被害関係	3件	4件
健康・福祉・介護等相談	1,074件	1,947件

③ 認知症の方への支援

認知症初期集中支援チームによる認知症の早期発見・早期対応に向けた支援を行うとともに、認知症を介護する家族を対象とした家族教室・家族サロンなどを実施しています。また、認知症サポーターの養成、はいかい高齢者おかえり支援事業模擬訓練の実施などを通じ、認知症の方が安心して暮らせる地域づくりを進めています。

実施事業	実施回数	延参加者数
家族教室	前後期各5回	95名
家族サロン	11回	192名
もの忘れ相談医による専門相談	11回	38名
認知症サポーター養成講座	14回	152名
はいかい高齢者おかえり支援事業模擬訓練（防災編）	1回（植田北学区）	約200名

④ 高齢者の見守り支援事業

地域社会から孤立している一人暮らし高齢者等を対象に、地域住民、関係機関と連携しながら対象者の把握、個別の支援、地域のネットワークづくりを行っています。

	実績	備 考
対象者数(2年3月末時点)	42人	
いきいきコール利用者	20人	週1回程度の電話訪問
延べ訪問件数	179件	
支援ネットワーク件数	43件	近隣住民による見守りネットワーク等

2 天白区介護保険事業所

名古屋市社会福祉協議会天白区介護保険事業所を事務所内に設置し、連携協力しながら居宅介護支援事業及び訪問介護事業を実施しました。

① 居宅介護支援事業（令和2年3月末現在）／ケアマネジャー6名

居宅介護支援給付管理件数	216件
市介護保険認定調査受託件数	101件（年間）

② 訪問介護事業（令和2年3月末現在）／サービス提供責任者9名

利用者数	335名
なごやかスタッフ	87名